

第 26 回 大阪府国民健康保険運営協議会 質疑要旨

○ 日時：令和 8 年 8 月 26 日（水曜日）13 時 30 分から 14 時 05 分まで

○ 場所：国民會館大阪城ビル12階 武藤記念ホール（大ホール）

○ 質疑要旨

【議題（１）大阪府国民健康保険運営方針の中間見直しについて】

- ・大阪府国民健康保険運営方針中間見直しに係る検討結果について説明。

（川隅委員）

大阪府では保険料収納率の向上と医療費適正化が課題であり、大阪府・市町村国民健康保険広域化調整会議（以下「調整会議」という。）において市町村と調整が進められているものの、依然として課題は残っている。一方で、保険者努力支援制度の順位は令和 7 年度には 42 位から 26 位へ上昇しており、いい方向へ向いている。

課題への対策として口座振替の推進やコンビニ収納の活用が示されているが、個人的には、府民の意識の向上が図られなければ、さらなる改善は難しいと考える。市町村における好事例を収集・共有しながら、課題の解消に向けて引き続き取り組んでいただきたい。

（事務局）

ご指摘いただいたように保険料収納率の向上は課題であり、市町村へのアンケートを通じて効果的な取組事例を収集し、その横展開を進めている。また、調整会議等で市町村担当者と協議しながら、実施可能な取組の検討を進めている。今後、取組に進展があれば、運営協議会において報告する予定である。

（森会長）

保険者努力支援制度については、得点順位の向上により交付額も増加しており、これまでの取組の成果が表れていると思うが、収納率対策と同様に、厳しい状況から順位を上げてきた現在、さらに上位を目指すためには、これまで以上に難しい課題への対応が求められるのではないかと考える。

これまで大阪府の主導のもと、市町村と連携しながら着実に取組を進めてこられたと認識しているが、現在 18 位まで上昇している中で、今後さらに順位向上を図るために、どのような項目に重点を置いて取組を推進していく考えなのか伺いたい。

（事務局）

保険者努力支援制度については、今後さらなる順位向上は容易ではないと認識している。毎年度、市町村と PDCA サイクルに基づく進捗管理を行い、特定健診受診率、特定保健指導実施率、メタボリックシンドロームの改善、収納率、ジェネリック医薬品の使用割合など、配点が高いものの得点が伸びていない項目を重点的に管理している。ジェネリック医薬品の使用割合については改善が見られる一方、その他の項目は依然として得点向上が難しい状況である。

今後の取組については、市町村ごとに保健事業等の実施により得点向上が見込まれるものの、十分に得点できていない項目があることから、大阪府において委託事業者による分析を実施し、その結果を市町村と共有している。その上で、取組によって成果が期待できるアウトプット指標を中心に重点的に取り組む方針を市町村と確認している。今後は、まずアウトプット指標の向上に注力し、

その結果としてアウトカム指標の改善につなげていきたいと考えている。

【その他意見】

(川隅委員)

6月の診療報酬改定の影響もあり、健康保険組合では全国的に医療費が増加している。国民健康保険においても同様の傾向があると考えられるが、現時点で把握している数値があれば、教えていただきたい。

(事務局)

現時点で具体的な数値は把握していないが、医療費の増加が懸念されることから、今後の動向を注視していきたい。